埼玉県立和光南特別支援学校　　令和３年１１月１５日発行　NO.７

和光南だより

〒351-0106　埼玉県和光市広沢４番５号
電話 048（465）9780　FAX 048（460）1016

学校教育目標「仲間とともに　心豊かに　たくましく」

たけのこ祭、そして、修学旅行へ

校長　矼　秀年

１１月となりました。去る夏の第５波といわれるピークと打って変わって、嘘のように新型コロナウイルスの感染者数は減少しました。１１月１日の東京都の感染者数は９人となり、１０人を下回ったのは昨年の５月３１日以来、およそ１年５か月ぶりとの報道がありました。埼玉県もこの日、新たな感染者は３人との発表がありました。感染者数が急に減るとともに、社会生活における制限が段階的に緩和され、「ああ、やっと元の生活に戻れるのかぁ。」といった錯覚に陥りそうになる時があります。が、そうした油断は禁物です。感染者数の減少については、専門家からもその明らかな理由はまだ示されていません。この原因が科学的に解明され、しかも「これから先は何の不安もありませんよ。」といった状態にならなければ、本校の感染防止対策を緩和していくことはまだまだ難しいと考えております。今後を考える上で、1918 年のいわゆる「スペイン風邪」と呼ばれる世界を席巻したインフルエンザ・パンデミックの事例を踏まえながら予測してみると、次のような一考察も可能かと思われます。

まず、コロナ・パンデミックが正規分布曲線を描きながら収束へと向かうであろうと考えます。そこで、緊急事態宣言が発令され、学校が臨時休業となった令和２年３月を起点とし、仮に今年８月の第５波が感染のピークであると楽観的な想定をした場合、起点からピークまで約１年半余りの時間を費やしたので、パンデミックが収束するまでにはもう約１年半余りかかるのではないだろうか。という仮説が立てられます。嫌な予感としては、２か月後ぐらいに第４波と同じぐらいの規模の感染拡大が第６波としてやってくるのではないか。そんな心配をしてしまいます。そうならないで欲しいと願うばかりです。

加えて、昨年はインフルエンザが流行しなかったので、人々の免疫力が低下しており、今年はこれも流行するのではないだろうかという懸念もあります。こんな予想も、外れてくれると嬉しいのですが…。引き続き、感染拡大防止対策を徹底してまいりましょう。

それはそれとして、１１月は「たけのこ祭」を開催します。待ちに待ったこの本校の文化の祭典を、一家庭につき１名様までの入場制限は設けさせていただきましたが、楽しくご観覧いただけたらと存じます。児童生徒たちは、発表のその日に向け、毎日練習に励んでいます。先生方も熱心にご指導されています。素晴らしい発表をご覧いただけるものと期待しています。そして、１２月になると、修学旅行があります。児童生徒の皆さんだけでなく、保護者の皆様、先生方も楽しみにしていると思います。予定通りに実施して、楽しい経験をたくさんして、皆無事に帰って来ることができるよう願っております。豊かな心を育むためにも、万全の準備を整えておきましょう。